

# ほけんだより 9月号

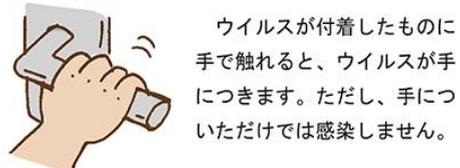
暑い日や突然の雨、気象の変化も激しい季節です。また、新型コロナウイルス感染症の流行も止まらず、規制の多い中で生活が続いています。子どもたちも詳しいことは理解できなくても怖いウイルスが猛威を振っていることから新しい生活様式を取り入れた生活に適應しようと頑張っています。引き続き感染症対策のご協力をお願いします。

## ウイルス、どうやってうつる？

ウイルスは、感染している人のせきやくしゃみ、会話の際のしぶき（飛沫（ひまつ））と共に飛び散ります。また、唾液や鼻水の中にも多く存在しています。ウイルスを含むしぶきを吸い込んだり、ウイルスのついた手を介して目や鼻、口からウイルスが体内に入ったりすることで感染します。



## 2 ウイルスがついた手で目や鼻、口を触る



ウイルスのついた手で、目や鼻、口を触るとウイルスが体内に侵入します。

**感染!**

### 手を洗ってウイルスを洗い流そう

ウイルスが手について、洗い流せば感染のリスクが下がります。手を洗うときは、せっけんをしっかりと泡立てて、指の間、指先までしっかり洗い、流水でよく流しましょう。

感染予防は、こまめな手洗いです。保育園でも手洗いの場面では、細やかに指導しています。ぜひご家庭でも一緒に行い正しい手洗いを身につけましょう。

## 正しい手洗いしてますか？

外から帰った後、遊びの後、食事やおやつの前には必ず正しい手洗いをしましょう。30秒くらいかけて、隅々までいいいに洗うことが大切です。3歳まではおうちの人の援助や見守りが必要です。

